速報版

令和8年10月21日からの大雨による出水の概要

《第1報　10月26日15時時点》

国土交通省　東北地方整備局　河川部

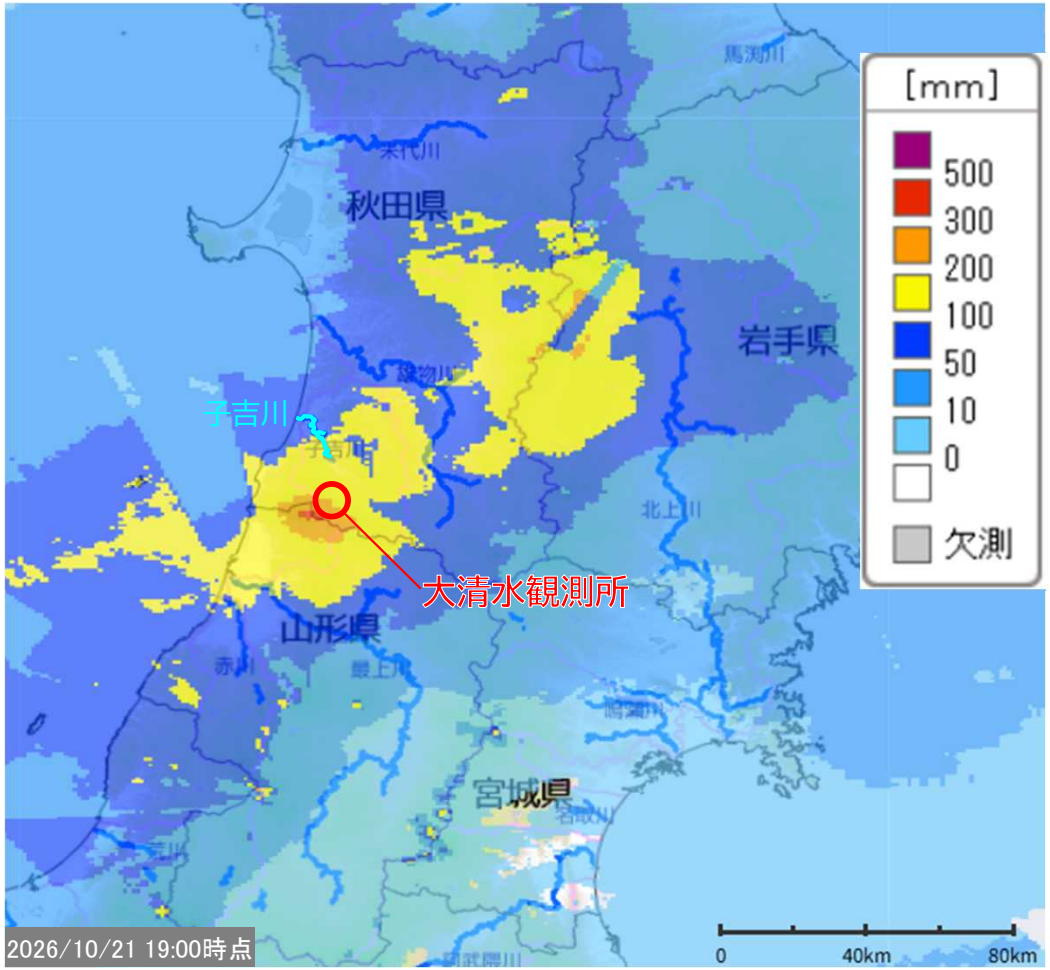
国土交通省

※数値は速報値ですので、今後の精査等により変更となる場合があります。

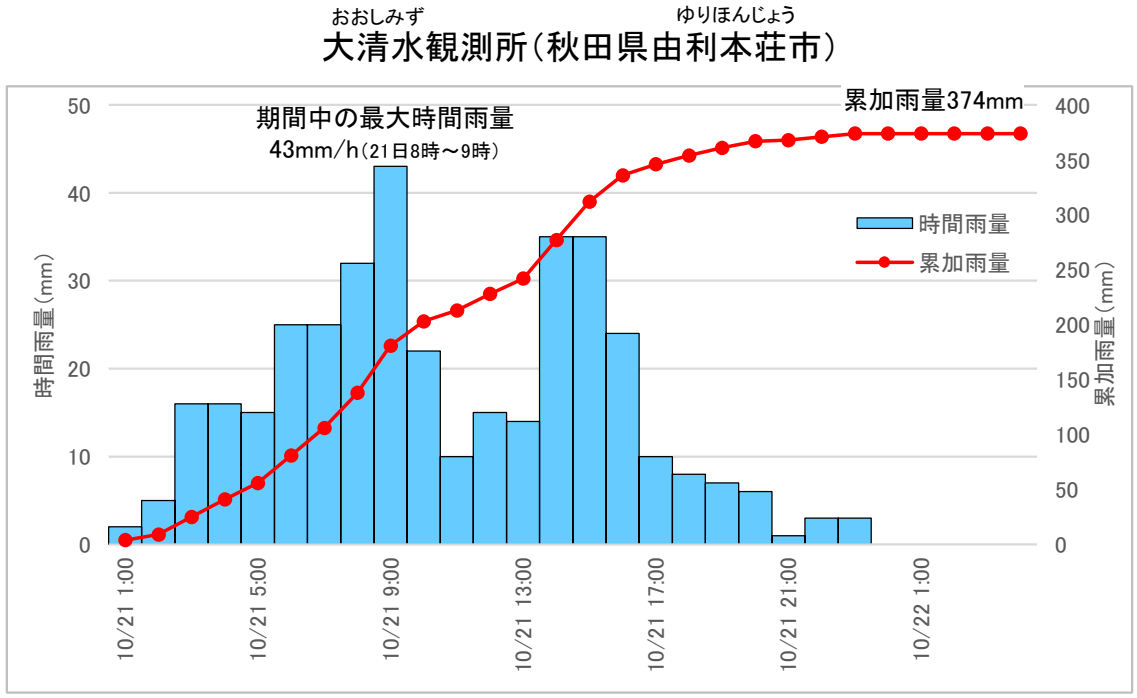
大雨の概要

○ 前線の影響により、秋田県を中心に大雨となり、大清水（おおしみず）雨量観測所において累加雨量374mmを記録。
また、気象庁の13観測所では、「10月の24時間降水量」が観測史上1位を記録。

○ 令和8年5月に改正水防法が施行されて以降、東北地方において初めてとなる「レベル5氾濫特別警報」を発表した。



▲10/21～の累加雨量の状況（10/21 19:00時点）



◆10月21日深夜から断続的に強い雨が降り続き、子吉川上流の大清水観測所では、10月21日9:00には43mmの時間雨量を記録。総雨量は374mmに達した。

国管理河川・ダムの状況

○ 管内の国管理河川では、1水系2河川で氾濫発生水位（警戒レベル5相当）を超過。1河川で氾濫が発生。

○ 管内の国管理ダムでは、4ダムで洪水調節を実施。

1. 河川の状況

○氾濫発生水位超過

子吉川（子吉川水系）、石沢川（子吉川水系）

2. ダム洪水調節状況

○国管理4ダムで洪水調節を実施

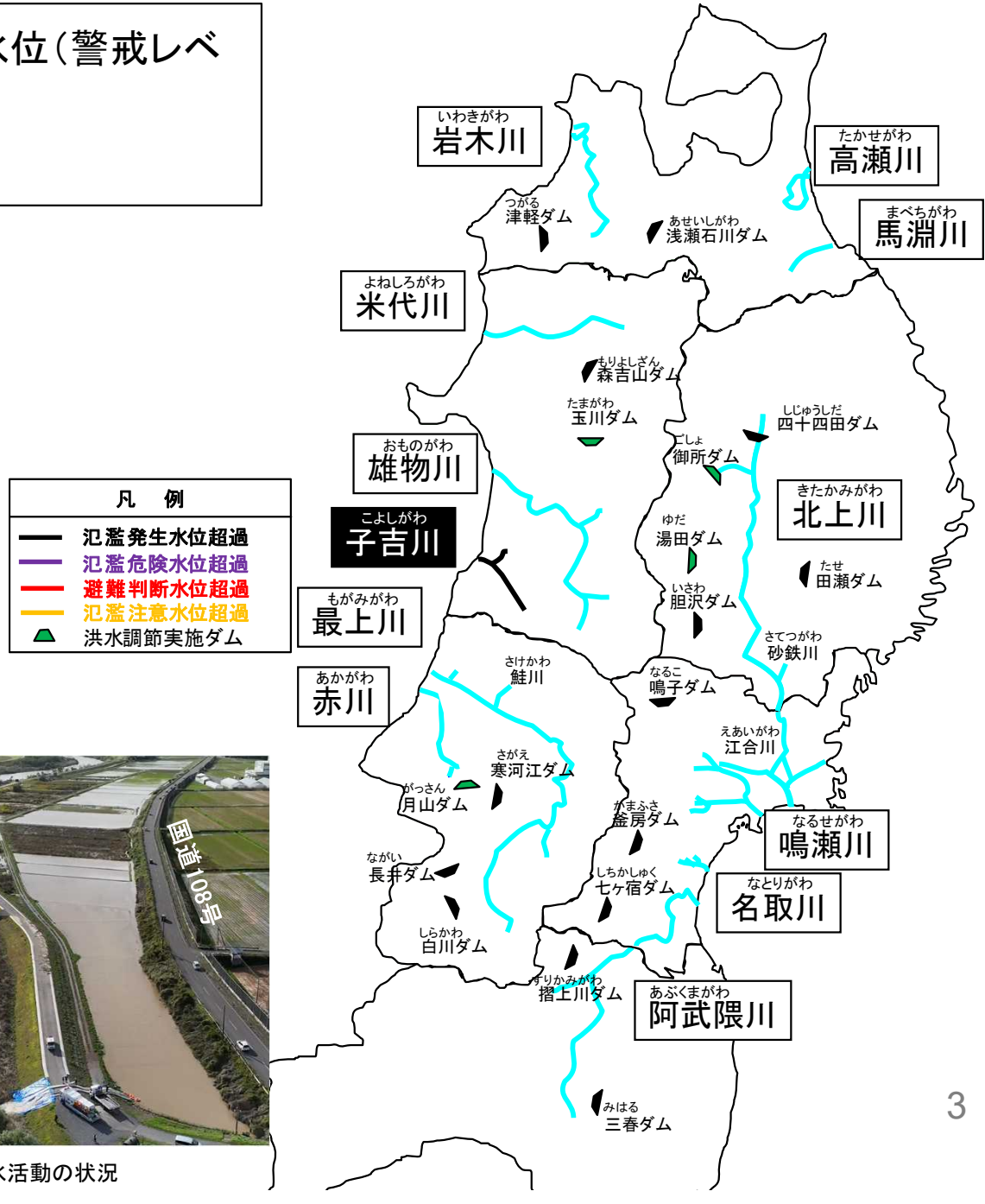
- 玉川ダム （雄物川水系）
- 御所ダム、湯田ダム （北上川水系）
- 月山ダム （赤川水系）



▲10/21　21:00の明法（みょうほう）水位観測所の様子



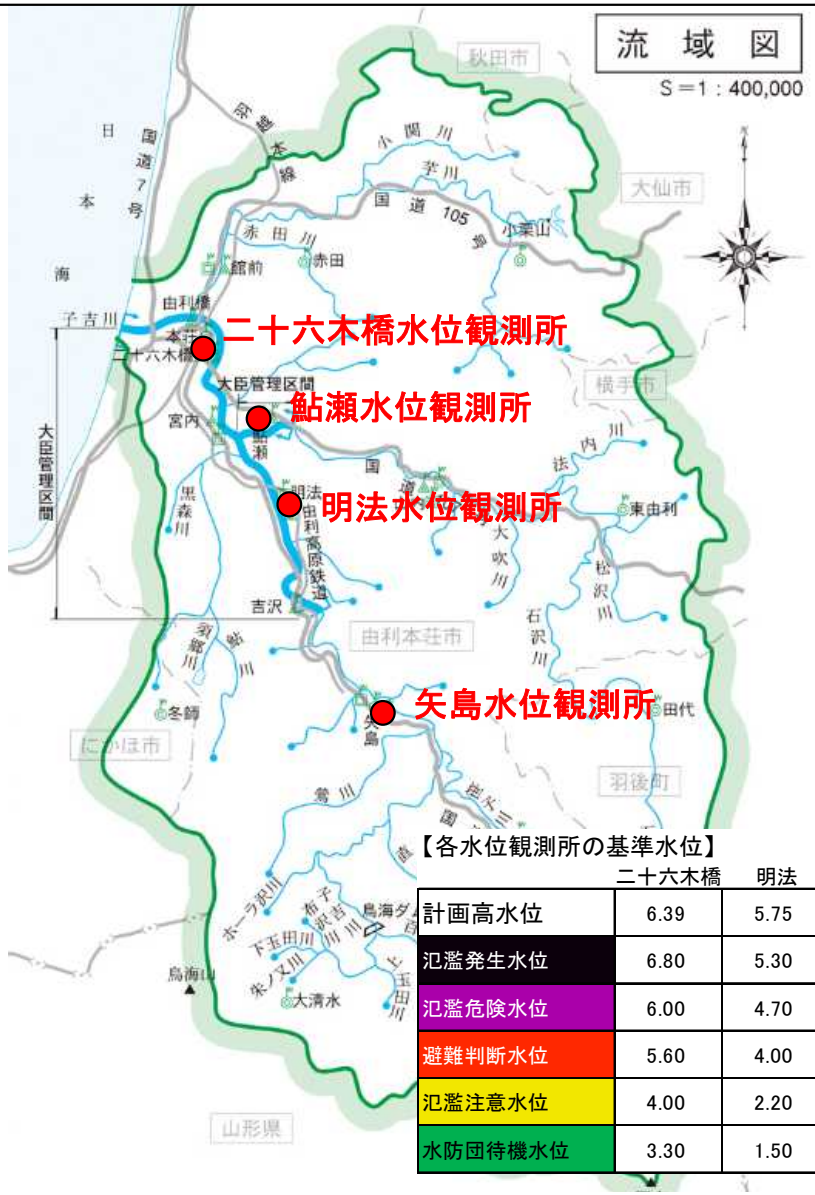
▲子吉川浸水箇所における排水活動の状況



既往洪水との水位比較

○ 今回の出水においては、明法・鮎瀬水位観測所において氾濫発生水位を超過。

○ 両観測所において観測史上3位、矢島観測所において観測史上4位の水位を観測。



【各水位観測所の基準水位】

	二十六木橋	明法	矢島	鮎瀬
計画高水位	6.39	5.75	－	5.79
氾濫発生水位	6.80	5.30	－	4.90
氾濫危険水位	6.00	4.70	－	4.50
避難判断水位	5.60	4.00	－	4.20
氾濫注意水位	4.00	2.20	4.10	3.40
水防団待機水位	3.30	1.50	2.90	2.50

二十六木橋（秋田県由利本荘市）
子吉川（子吉川）

順位	水位(m)	観測年
1	6.86	2011(H23)
2	6.40	1980(S55)
3	6.07	2024(R6)
4	5.78	1972(S47)
5	5.75	2013(H25)
6	5.63	1990(H2)
7	5.62	1987(S62)
8	5.49	1993(H5)
9	5.44	1997(H9)
10	5.44	2002(H14)
16	5.09	2026(R8)

明法（秋田県由利本荘市）
子吉川（子吉川）

順位	水位(m)	観測年
1	6.33	2024(R6)
2	5.91	2011(H23)
3	5.51	2026(R8)
4	5.30	1972(S47)
5	5.05	1980(S55)
6	5.02	2013(H25)
7	4.91	1997(H9)
8	4.83	2007(H19)
9	4.76	2009(H21)
10	4.75	1975(S50)

矢島（秋田県由利本荘市）
子吉川（子吉川）

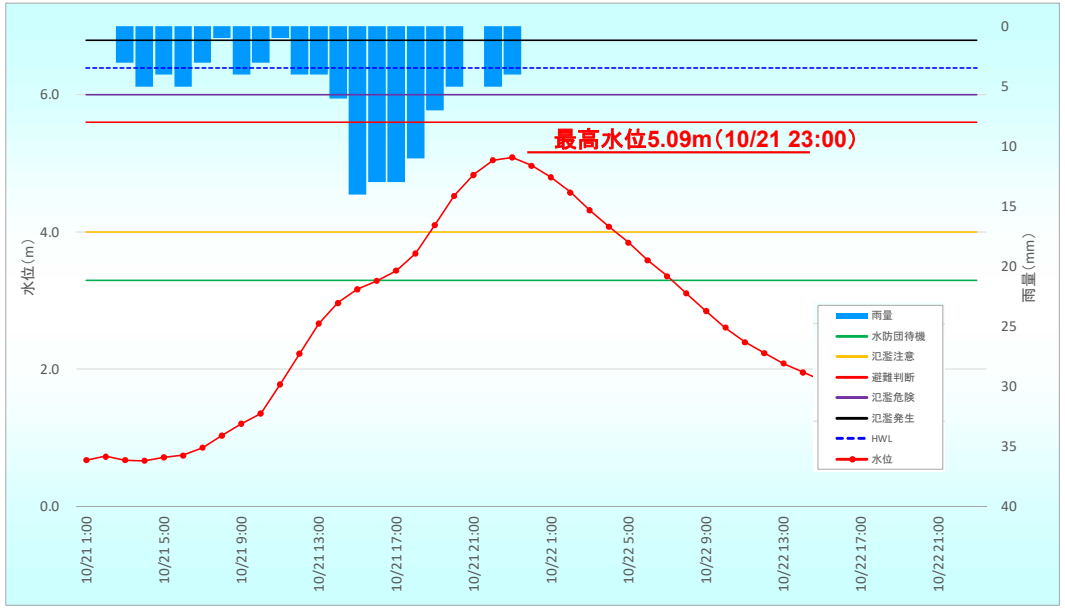
順位	水位(m)	観測年
1	6.95	2024(R6)
2	6.30	2011(H23)
3	6.24	1987(S62)
4	6.02	2026(R8)
5	5.97	2011(H23)
6	5.96	2009(H21)
7	5.86	1997(H9)
8	5.64	2013(H25)
9	5.63	2005(H17)
10	5.61	2013(H25)

鮎瀬（秋田県由利本荘市）
石沢川（子吉川）

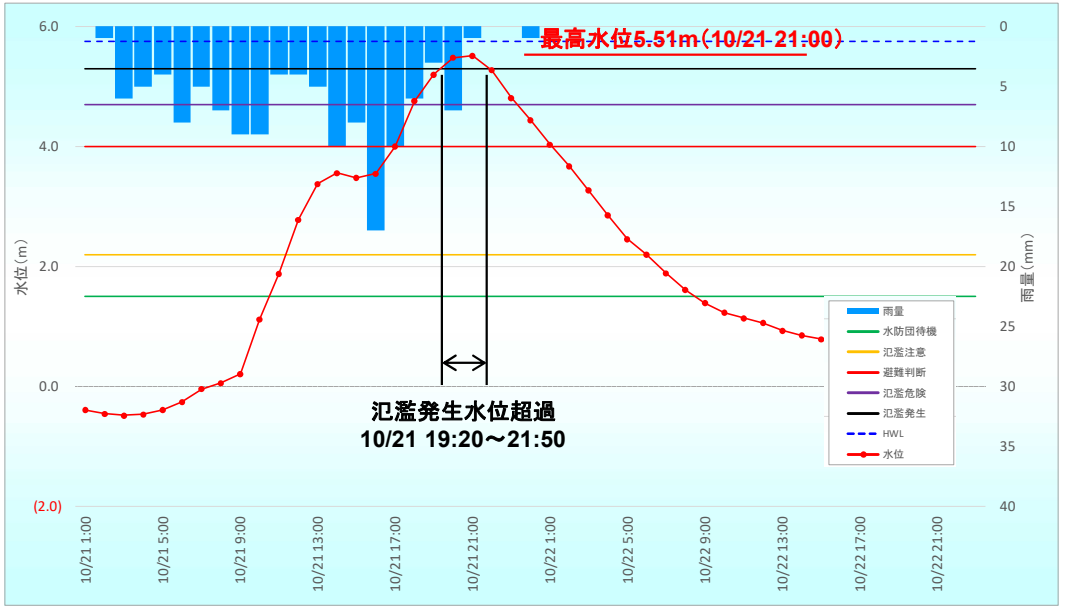
順位	水位(m)	観測年
1	6.42	2024(R6)
2	6.41	2011(H23)
3	5.41	2026(R8)
4	5.26	1975(S50)
5	5.25	1972(S47)
6	5.22	1980(S55)
7	5.22	2019(R1)
8	5.16	2013(H25)
9	5.04	2011(H23)
10	4.98	2023(R5)

水位・雨量の状況

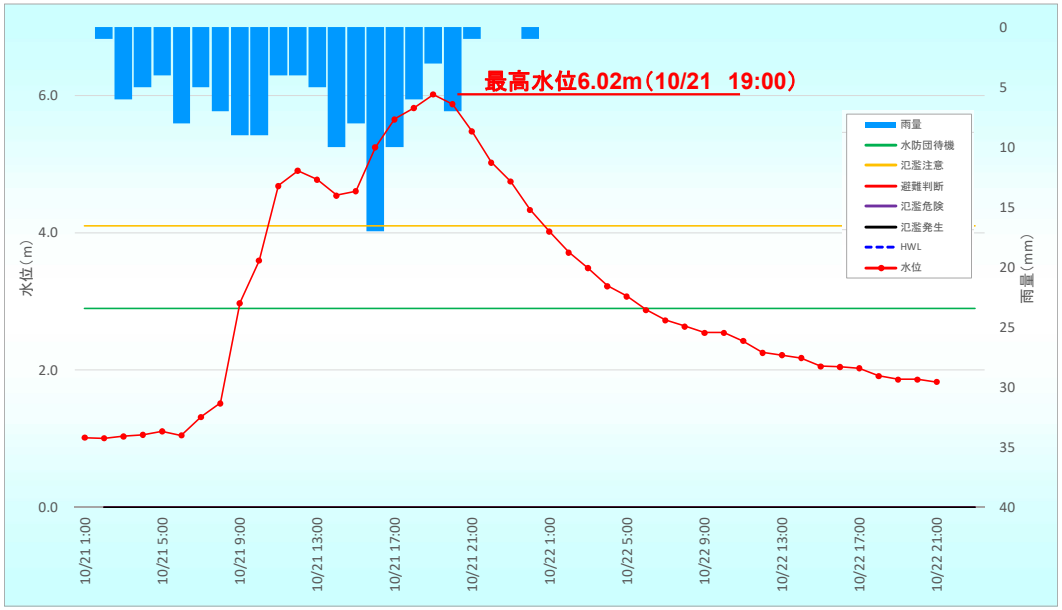
【子吉川】 水位：二十六木橋（由利本荘市） 雨量：矢島（由利本荘市）



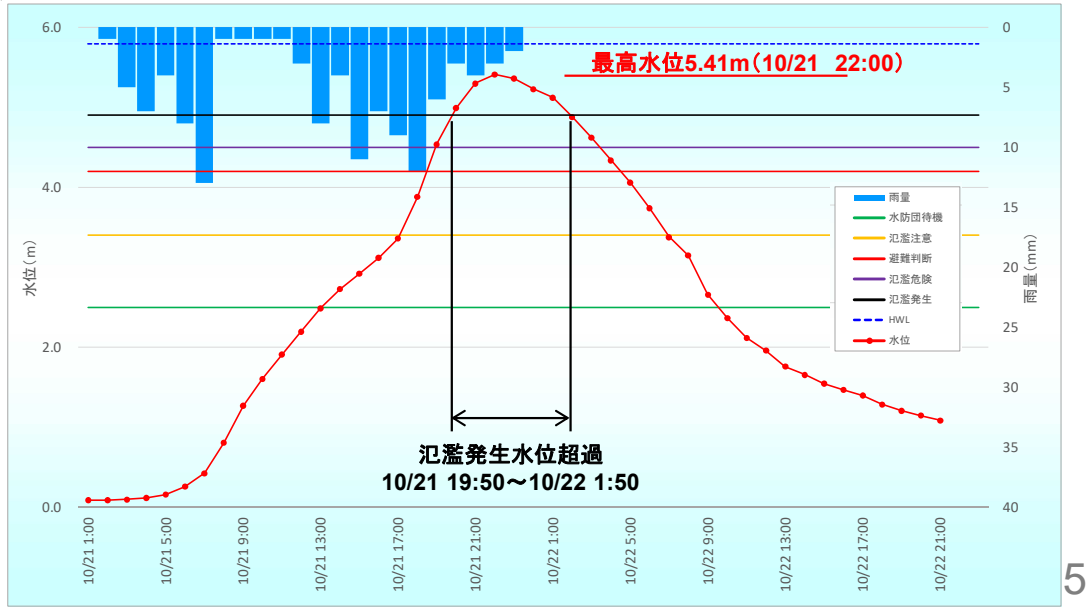
【子吉川】 水位：明法（由利本荘市） 雨量：笹子（気）（由利本荘市）



【子吉川】 水位：矢島（由利本荘市） 雨量：笹子（気）（由利本荘市）

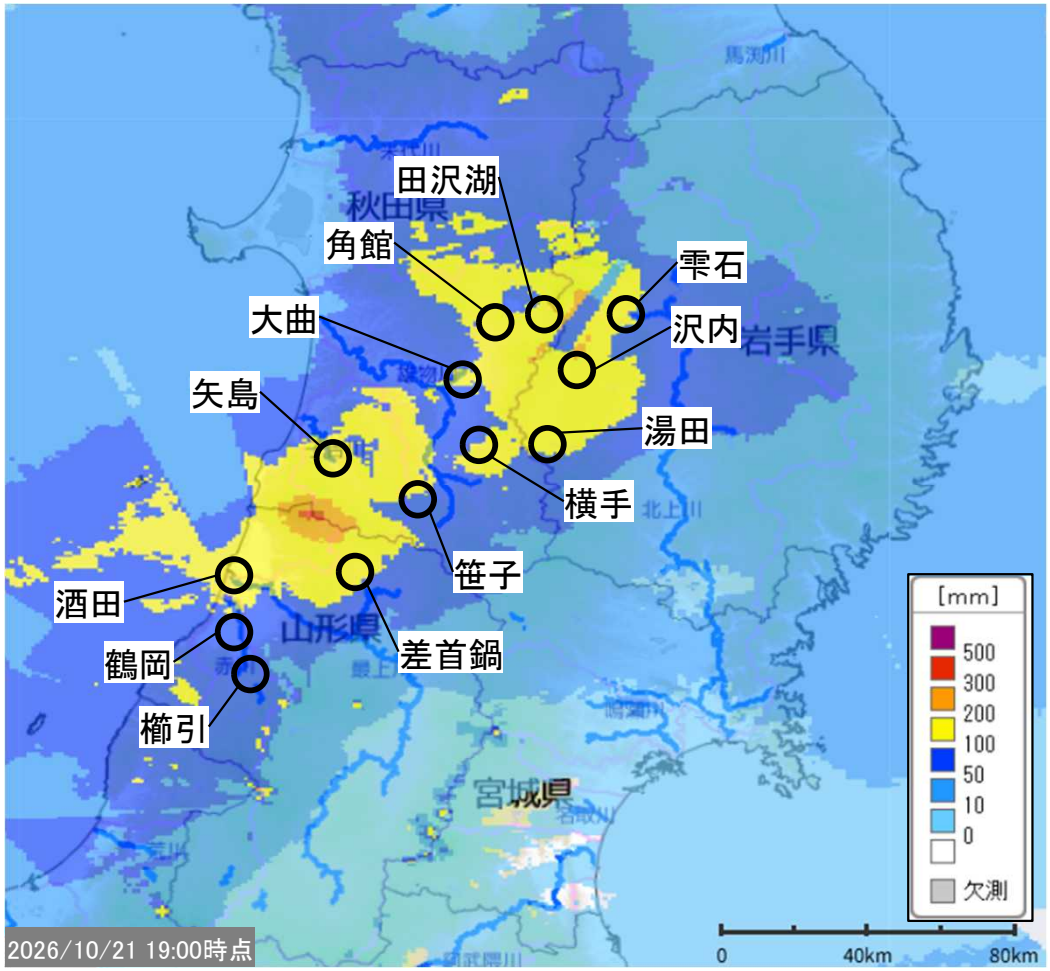


【石沢川】 水位：鮎瀬（由利本荘市） 雨量：山内（由利本荘市）



既往洪水との降雨量比較

○ 岩手県、秋田県、山形県の全13観測所（いずれも気象庁）において、10月の24時間降水量を更新。



▲10/21～の累加雨量と10月の24時間降水量を更新した観測所位置

観測所名		県名	10月の24時間降雨量の日最大値		
			これまでの1位	今回	比率
角館	かくのだて	秋田県	96	99.5	103.6%
田沢湖	たざわこ	秋田県	117.5	119.0	101.3%
大曲	おおまがり	秋田県	66.5	95.5	143.6%
横手	よこて	秋田県	87.5	96.0	109.7%
矢島	やしま	秋田県	115.0	137.0	119.1%
笹子	じねご	秋田県	111.5	130.0	116.6%
雫石	しずくいし	岩手県	99	109.5	110.6%
沢内	さわうち	岩手県	113.5	154.0	135.7%
湯田	ゆだ	岩手県	109.0	119.5	109.6%
酒田	さかた	山形県	95.5	129.0	135.1%
差首鍋	さすなべ	山形県	116	138.0	119.0%
鶴岡	つるおか	山形県	81	101.5	125.3%
櫛引	くしびき	山形県	88	92.0	104.5%

※10月23日時点

水位上昇の状況（河川管理用カメラ画像）①

二十六木橋（とどろきばし）水位観測所（子吉川（こよしがわ）水系子吉川（こよしがわ））10月20日　15:00時点



明法（みょうほう）水位観測所（子吉川水系子吉川）10月20日　15:00時点



二十六木橋水位観測所（子吉川水系子吉川）10月21日　22:30時点



明法水位観測所（子吉川水系子吉川）10月21日　21:00時点

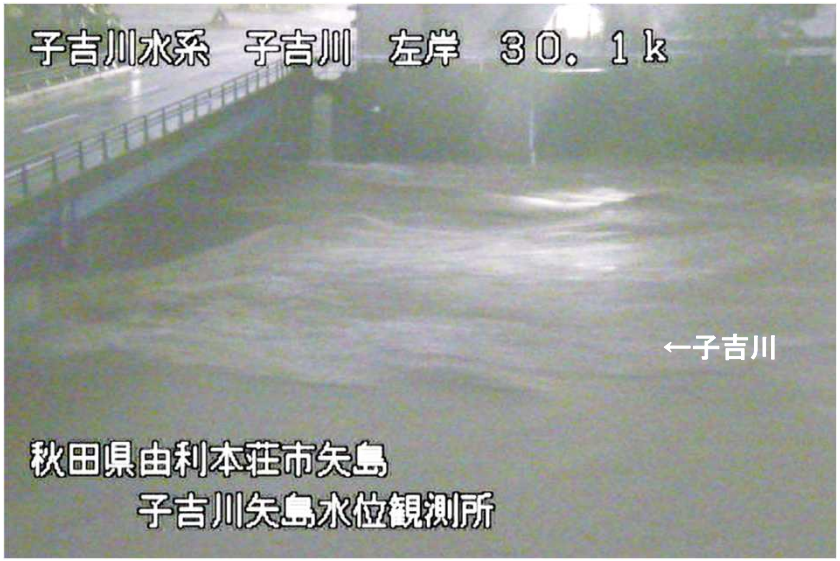


水位上昇の状況（河川管理用カメラ画像）②

矢島水位観測所（子吉川水系子吉川）10月20日　15:00時点



矢島水位観測所（子吉川水系子吉川）10月21日　17:30時点



鮎瀬水位観測所（子吉川水系石沢川）10月20日　15:00時点



鮎瀬水位観測所（子吉川水系石沢川）10月21日　22:00時点



国管理河川における浸水等発生状況

10/26 10:00時点

水系	河川	自治体	発生地点		田畑等浸水	
			左右岸	河口からの位置※1※2	原因※1	面積(ha)※1
子吉川	子吉川	由利本荘市	左	7.6k	内水	2.0
			左	8.2k	内水	5.0
			左	9.7k	内水	3.0
			左	12.4k	内水	1.0
			左	13.2k	内水	5.0
			左	14.2k	内水	6.0
			左	16.4k	内水	6.0
			左	17.0k	外水	9.8
			左	17.8k	内水	3.0
			右	6.1k	内水	8.0
			右	7.5k	内水	1.0
			右	7.7k	内水	4.0
			右	10.4k	内水	3.0
			右	13.2k	内水	3.0
			右	15.0k	内水	3.0
			右	20.1k	内水	0.3
	石沢川		左	0.2k	内水	8.0
合計						71.1

※1 浸水発生位置、原因、面積は、国土交通省で10月21～22日に実施した河川巡視結果からとりまとめたものであるため、今後の調査等により変更となる場合もある。

※2石沢川の発生位置は、子吉川との合流点からの位置。

国管理河川における浸水等発生位置図

国土交通省
東北地方整備局


子吉川右岸6.1k付近(R8.10.22 0:25撮影)


子吉川右岸7.7k付近(R8.10.22 7:03撮影)


石沢川左岸0.2k付近(R8.10.22 7:38撮影)


子吉川右岸15.0k付近(R8.10.21 14:42撮影)



子吉川左岸13.2k付近(R8.10.22 7:30撮影)

子吉川左岸14.2k付近(R8.10.21 15:06撮影)

子吉川左岸16.4k付近(R8.10.21 16:05撮影)

子吉川左岸17.0k付近(R8.10.22 6:00撮影)

※ 浸水発生位置、面積は、国土交通省で10月21～22日に実施した河川巡視からとりまとめたものであるため、今後の調査等により変更となる場合もある。

早期の浸水解消に向けた排水活動

○ 令和8年10月21日からの降雨により、子吉川では明法水位観測所において氾濫発生水位を超過、由利本荘市森子にて堤防から越水し浸水を確認（21日19時30分頃）。

○ 10月22日に排水ポンプ車を出動させ、同日4時50分から8時45分までの排水活動により、浸水解消までの時間短縮に寄与（（株）大沼組：子吉川地区維持工事受注者）。



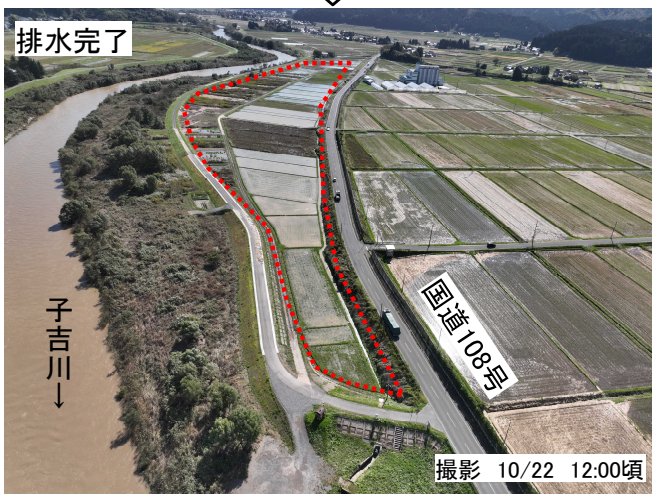






▲排水活動の状況





▲浸水箇所の状況

ホットライン・リエゾンによる自治体支援、記者会見による情報発信

○ 子吉川水系において、整備局及び事務所からホットラインを実施。秋田県及び由利本荘市に対して、気象情報や今後の水位見込み等を発信。

水系	事務所	県・市町村	回数
子吉川	整備局	秋田県	1
	秋田河川国道	由利本荘市	6
1水系		1県1市	7回

○ 由利本荘市にリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を派遣し、自治体ニーズの把握、迅速な対応を実施。



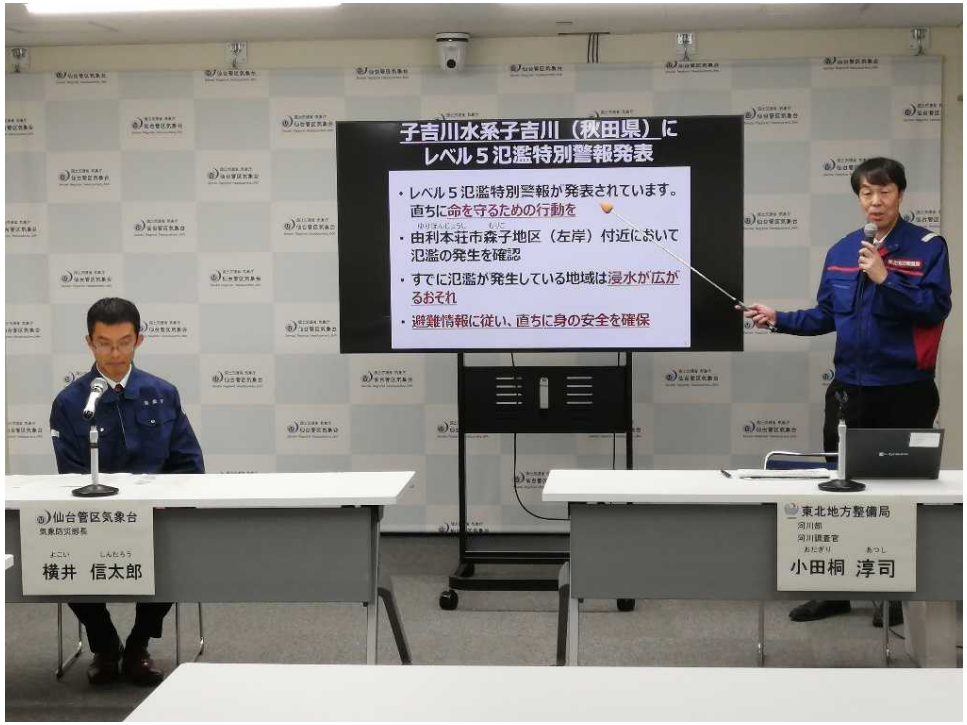
第1回由利本荘市災害対策本部会議の状況　10/22 10:00開催

○ 子吉川にレベル5氾濫特別警報が発表されたことを踏まえ、仙台管区気象台と合同で記者会見を実施。河川の今後の見込み等、安全確保に関する注意事項を説明。

開 催 日 時　令和8年10月21日20時45分

説　明　者　東北地方整備局　河川部　河川調査官
仙台管区気象台　気象防災部長

内　　容　特別警報の発表状況、気象情報、今後の見通し
氾濫特別警報を発表した河川の状況、今後の河川水位の見通し



地域の建設業等による迅速な対応

○ 浸水被害解消のため、地域の建設業が昼夜問わず対応。
○ 河川計画や防災対応によって重要な基礎資料となる流量観測や、いち早く被災状況を把握するための河川巡視を実施。



▲河川巡視の状況｜(株)大沼組



▲UAVによる被災状況調査｜(株)ウヌマ地域総研



▲浸水被害解消のためのポンプ排水｜(株)大沼組



▲浸水被害解消のためのポンプ排水｜(株)大沼組

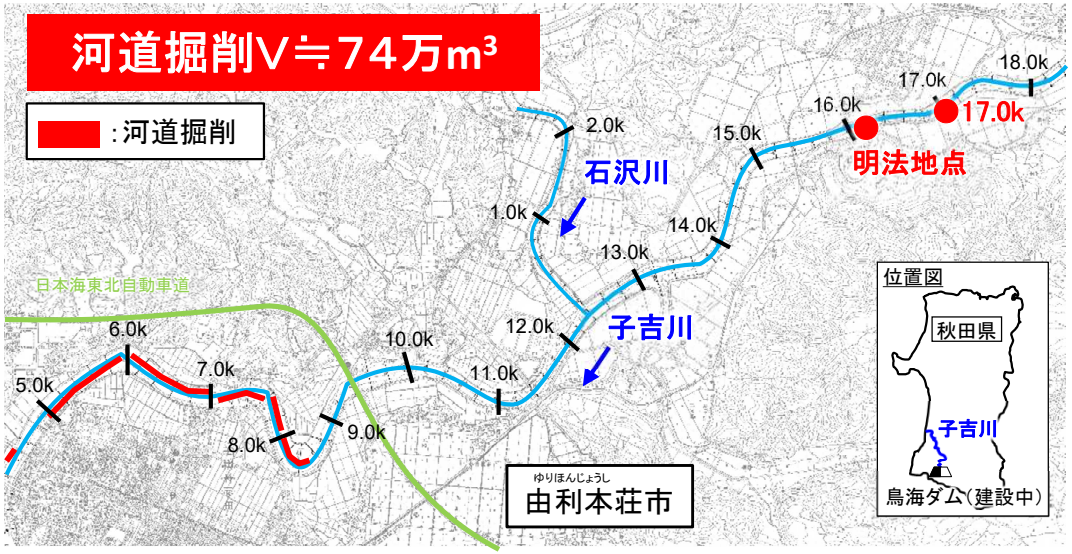
河川整備及び鳥海ダム（事業中）の効果

国土交通省
東北地方整備局

○ 子吉川では、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」で河道掘削等を実施。

○ これまでに実施した河道掘削に加え、現在事業中の鳥海ダムが完成した場合には、子吉川17．0k地点で約0．7m水位を低減し、越水を回避できたものと推測される。

河道掘削実施箇所位置図



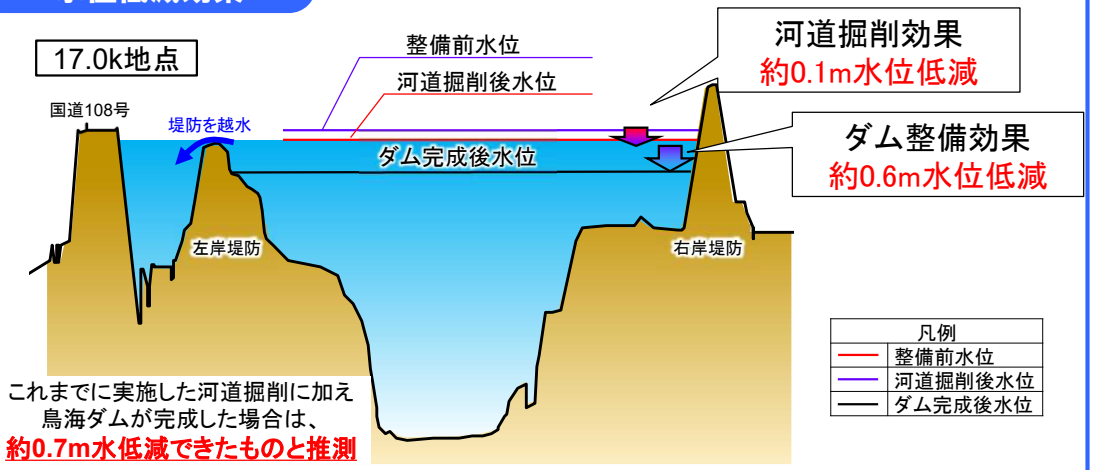


▲令和3年度の状況（河道掘削前）



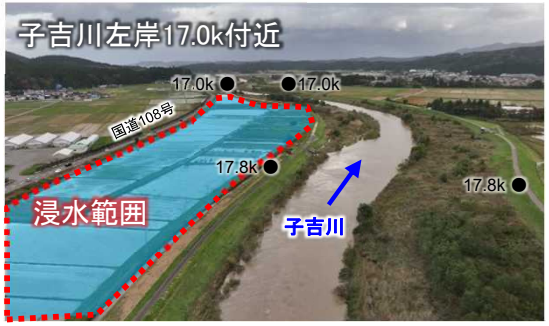
▲令和7年度の河道掘削状況

水位低減効果



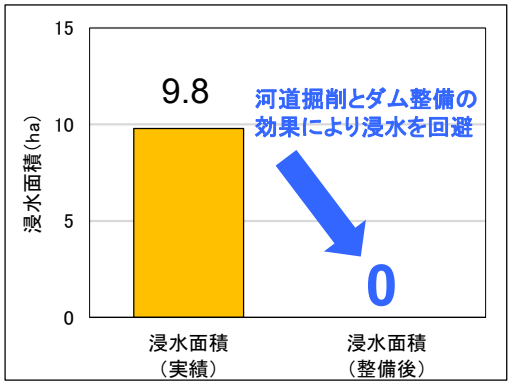
これまでに実施した河道掘削に加え
鳥海ダムが完成した場合は、
約0.7m水低減できたものと推測

＜浸水箇所の状況＞



10/22　6:00頃撮影

＜浸水被害軽減効果＞



※本資料の数値は速報値のため、今後の精査等により変更となる場合があります。